

PCT

REC'D 03 FEB 2005

WIPO PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条)
(PCT36条及びPCT規則70)

出願人又は代理人 の書類記号 2003PCT54	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP03/10812	国際出願日 (日.月.年) 26.08.2003	優先日 (日.月.年) 28.08.2002
国際特許分類 (IPC) Int.Cl ⁷ D04B1/28、A41D19/00、D04B7/00、D04B7/34		
出願人 (氏名又は名称) 株式会社島精機製作所		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。
3. この報告には次の附属物件も添付されている。
- a ☒ 附属書類は全部で 10 ページである。
- ☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙 (PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)
- ☐ 第I欄4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
- b ☐ 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第802号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- ☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第II欄 優先権
- ☐ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☒ 第IV欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
- ☐ 第VII欄 国際出願の不備
- ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見。

国際予備審査の請求書を受理した日 15.03.2004	国際予備審査報告を作成した日 12.01.2005	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 山崎 利直	4S 3233
電話番号 03-3581-1101 内線 3430		

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月)

BEST AVAILABLE COPY

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、_____ 語による翻訳文を基礎とした。
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査
☐ PCT規則12.4にいう国際公開
☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1, 6-19 ページ、出願時に提出されたもの
 第 2, 2/1, 3, 4, 4/1, 5, 5/1 ページ*、17. 12. 2004 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ*、_____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 6, 8, 9 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
 第 1, 3, 5, 7, 10-12 項*、17. 12. 2004 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ 項*、_____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-10 ページ/図、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*、_____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*、_____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ
☒ 請求の範囲 第 2, 4 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表(具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表(具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第IV欄 発明の単一性の欠如

1. 請求の範囲の減縮又は追加手数料の納付の求めに対して、出願人は、

- ☐ 請求の範囲を減縮した。
- ☐ 追加手数料を納付した。
- ☒ 追加手数料の納付と共に異議を申立てた。
- ☐ 請求の範囲の減縮も、追加手数料の納付もしなかった。

2. ☐ 国際予備審査機関は、次の理由により発明の単一性の要件を満たしていないと判断したが、PCT規則68.1の規定に従い、請求の範囲の減縮及び追加手数料の納付を出願人に求めないこととした。

3. 国際予備審査機関は、PCT規則13.1、13.2及び13.3に規定する発明の単一性を次のように判断する。

- ☒ 満足する。
- ☐ 以下の理由により満足しない。

4. したがって、国際出願の次の部分について、この報告を作成した。

☒ すべての部分

☐ 請求の範囲 _____ に関する部分

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1, 3, 5-12	有 無
	請求の範囲		
進歩性 (IS)	請求の範囲	1, 3, 5-12	有 無
	請求の範囲		
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1, 3, 5-12	有 無
	請求の範囲		

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

・請求の範囲 1, 3, 5-12

手袋の編成方法において、四本胴と親指の指袋を接合する際に、親指の指袋に対して回し動作を行うこと、および該方法から得られた手袋は、国際調査報告で引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

差指4、親指5の指袋および5本胴の編成部が手の甲側または掌側において同一平面になるように編成されている。

しかしながら、実際の人の手の掌は、掌全体に対して親指付け根部分が掌側に飛び出していて、親指が他の指よりも前に位置している。そのため、親指の指先の向き及び爪の向きが、小指、薬指、中指、人差指の指先の向き及び爪の向きと異なる。

したがって、上記のように平面的に編成された手袋では、手袋着用の際に手の甲の親指付け根部分において圧迫感を生じたりして、手袋が手にフィットし難く、手の甲側の編目が広がって外観が悪くなるという不具合がある。

さらに、手袋を着用したときに、親指の腹部分に親指5の指袋の先端部に形成される指先カーブラインXの両端こぶ部分Yが当たり、装着時に違和感が生じ、作業性が悪くなる不具合がある。

発明の開示

本発明は、手袋着用時の圧迫感を軽減できるようにするため、実際の手の形状に合った三次元的な形状を有する手袋およびその編成方法を提供することを目的とする。さらに、本発明は、手袋装着時の親指での違和感を無くして作業性を向上できる手袋およびこれを得るための編成方法を提供することも目的とする。

本発明に記載の手袋の編成方法は、左右方向に延び、かつ、前後方向に互いに対向する少なくとも前後一對の針床を有し、前後の針床の少なくとも一方が左右にラッキング可能で、前後の針床間で編目の目移しが可能な横編機を用いる手袋の編成方法であって、小指、薬指、中指、人差指が挿入される四本胴の編成を行い、四本胴と親指の指袋を接合する前に、編針に係止されている四本胴の編目を、空針への目移しと針床のラッキング動作により、四本胴を親指の指袋の編目が係止される編針に向って回す回し動作および編針に係止されている親指の指袋の編目を、空針への目移しと針床のラッキング動作により、1/4周以下の範囲内で回し動作を行った後、四本胴と親指の指袋の接合を行う

この方法によれば、四本胴に対する親指の指袋の接合箇所を実際の人の手の形状に合う位置にすることができ、手袋全体を三次元的な形状とすることができるので、手袋着用の際に手の甲の親指付け根部分において生じていた圧迫感を軽減するこ

とができ、手袋が手にフィットし易くなるとともに、この方法によれば、親指の指袋の回し動作により、人の親指の腹部分に、親指の指袋の先端部に形成される指先カーブラインの両端こぶ部分が当たらないようにすることができ、手袋装着時の違和感が無くなって作業性を向上できる。

- 5 なお、四本胴の回し動作は、四本胴と親指の指袋を接合する前の状態から 1 / 1

0 周、すなわち、四本胴を親指の指袋の編目が係止される編針に向って 1 / 10 周回することがより好ましい。

また、親指の回し動作は、四本胴と親指の指袋を接合する前の状態から、親指における四本胴から最も離れた編目が掌側に回り込む方向に 3 / 20 周から 1 / 4

5 周の範囲内で回することが好ましい。

また本発明に記載の手袋の編成方法は、左右方向に延び、かつ、前後方向に互いに対向する少なくとも前後一对の針床を有し、前後の針床の少なくとも一方が左右にラッキング可能で、前後の針床間で編目の目移しが可能な横編機を用いる手袋の編成方法であって、小指、薬指、中指、人差指が挿入される四本胴の編成を行い、

10 四本胴と親指の指袋を接合する前に、編針に係止されている親指の指袋の編目を、空針への目移しと針床のラッキング動作により、1 / 4 周以下の範囲内で回し動作をした後、四本胴における掌側で人差指側端部から所定の目数の複数の編目に親指の指袋の編目の一部を重ね合わせ、重ね合わされた編目を伏せ目処理し、五本胴を編成する。

15 この方法によれば、四本胴に対する親指の指袋の接合箇所を実際の人の手の形状に合う位置にすることができ、手袋全体を三次元的な形状とすることができるので、手袋着用の際に手の甲の親指付け根部分において生じていた圧迫感を軽減することができ、手袋が手にフィットし易くなるとともに、親指の指袋の回し動作により、人の親指の腹部分に、親指の指袋の先端部に形成される指先カーブラインの両端
20 こぶ部分が当たらないように

することができ、手袋装着時の違和感が無くなって作業性を向上できる。

なお、この方法においても、親指の回し動作は、四本胴と親指の指袋を接合する前の状態から、親指における四本胴から最も離れた編目が掌側に回り込む方向に $3/20$ 周から $1/4$ 周の範囲内で回すことが好ましい。

- 5 また、本発明の手袋の編成方法は、左右方向に延び、かつ、前後方向に互いに対向する少なくとも前後一對の針床を有し、前後の針床の少なくとも一方が左右にラッキング可能で、前後の針床間で編目の目移しが可能な横編機を用いる手袋の編成方法であって、小指、薬指、中指、人差指が挿入される四本胴と親指の指袋の編成を行い、四本胴と親指の指袋の接合を行った後、五本胴を編成する時に手の甲側の編目対して、掌側の編目が少なくなるように編目を減らして五本胴を編成し、掌側の編地部分に親指の指袋が突き出された状態で、掌側の編地部に対して親指の指袋の向きが回転した状態に形成されている五本胴を編成する。

- 15 この方法によれば、五本胴における掌側の編地の編幅を減らす編成だけで、手袋の形状を、四本胴の掌面から親指の指袋が突出された実際の人の手の形状に合う三次元的な形状とすることができるので、手袋着用の際に手の甲の親指付け根部分において生じていた圧迫感を軽減することができ、手袋が手にフィットし易くなる。

さらに、五本胴における四本胴の編目とウェール方向に連続する編目を、掌側の親指側端部から、五本胴における親指の指袋を形成する編目とウェール方向に連続する編目に、所定コース毎に重ね合わせながら五本胴を編成する。

- 20 この方法によれば、掌の内側に減らし目の線が現れても、掌の親指付け根部分に形成される谷間の線に沿った状態にできるので、外観を良好にできる。

また上記何れかに記載の手袋の編成方法において、四本胴と親指の指袋を接合する前に、四本胴の親指側において編目を増やすことにより編幅を増やす編成を行う。

- 25 この方法によれば、手袋の四本胴の幅方向寸法を広くでき、手袋着用の際に手の甲の親指付け根部分における圧迫感をさらに良好に軽減できるし、編目が広がって外観が悪くなるという不具合もより軽減できる。

さらに、四本胴と親指の指袋が接合された後に、五本胴の編幅を減らす編成を行う。

この方法によれば、人の手の形により即した形状とすることができるし、四本胴の編幅を増やしていても手首部分の弛みが生じない。

さらに、五本胴における親指の指袋を形成する編目とウェール方向に連続する編目と、五本胴における四本胴の編目とウェール方向に連続する編目とを所定コース毎に重ね合わせながら五本胴を編成する。

この方法によれば、掌の内側に減らし目の線が現れても、掌の親指付け根部分に形成される谷間の線に沿った状態にできるので、外観を良好にできる。

また、本発明の手袋は、左右方向に延び、かつ、前後方向に互いに対向する少なくとも前後一对の針床を有し、前後の針床の少なくとも一方が左右にラッキング可能で、前後の針床間で編目の目移しが可能な横編機を用いて編成された手袋であって、小指、薬指、中指、人差指が挿入される四本胴と親指の指袋を備え、四本胴における親指の指袋が接合される位置が、四本胴の掌側で人差指側端部から掌中心の間に位置するとともに、親指の指袋が、その $1/4$ 周以下の範囲内で回された状態で四本胴と親指の指袋との接合が行なわれて編成されている構成とした。

また、本発明の手袋は、左右方向に延び、かつ、前後方向に互いに対向する少なくとも前後一对の針床を有し、前後の針床の少なくとも一方が左右にラッキング可能で、前後の針床間で編目の目移しが可能な横編機を用いて編成された手袋であって、小指、薬指、中指、人差指が挿入される四本胴と親指の指袋とを備え、四本胴における掌側で人差指側端部から所定の目数の複数の編目に親指の指袋が、当該指袋の $1/4$ 周以下の範囲内で回された状態で編目の一部が重ね合わされて伏せ目処理がなされている構成とした。

また、本発明の手袋は、左右方向に延び、かつ、前後方向に互いに対向する少なくとも前後一对の針床を有し、前後の針床の少なくとも一方が左右にラッキング可能で、前後の針床間で編目の目移しが可能な横編機を用いて編成された手袋であって、小指、薬指、中指、人差指が挿入される四本胴と親指の指袋の編成を行い、四本胴と親指の指袋の接合を行った後、五本胴を編成する時に手の甲側の編目対して、掌側の編目が少なくなるように編目を減らして五本胴を編成し、掌側の編地部分に親指の指袋が突き出された状態で、掌側の編地部に対して親指の指袋の向きが回転した状態の五本胴が形成される構成とした。

上記のいずれの手袋において、手袋の四本胴に対する親指の指袋の接合箇所が実際の人の手の形状に合う位置となり、手袋全体を三次元的な形状とすることができ

るので、手袋着用の際に手の甲の親指付け根部分において生じていた圧迫感を軽減
することができ、手袋が手にフィットし易くなる。

図面の簡単な説明

図 1 は本発明にかかる手袋の第 1 実施形態であって、掌側から見た親指を開いた

請求の範囲

1. (補正後) 左右方向に延び、かつ、前後方向に互いに対向する少なくとも前後一对の針床を有し、前後の針床の少なくとも一方が左右にラッキング可能で、前後の針床間で編目の目移しが可能な横編機を用いる手袋の編成方法であって、

小指、薬指、中指、人差指が挿入される四本胴の編成を行い、四本胴と親指の指袋を接合する前に、編針に係止されている四本胴の編目を、空針への目移しと針床のラッキング動作により、四本胴を親指の指袋の編目が係止される編針に向って回す回し動作および編針に係止されている親指の指袋の編目を、空針への目移しと針床のラッキング動作により、1/4周以下の範囲内で回し動作を行った後、四本胴と親指の指袋の接合を行うようにしていることを特徴とする手袋の編成方法。

2. 削除

3. (補正後) 左右方向に延び、かつ、前後方向に互いに対向する少なくとも前後一对の針床を有し、前後の針床の少なくとも一方が左右にラッキング可能で、前後の針床間で編目の目移しが可能な横編機を用いる手袋の編成方法であって、

小指、薬指、中指、人差指が挿入される四本胴の編成を行い、四本胴と親指の指袋を接合する前に、編針に係止されている親指の指袋の編目を、空針への目移しと針床のラッキング動作により、1/4周以下の範囲内で回し動作をした後、四本胴における掌側で人差指側端部から所定の目数の複数の編目に親指の指袋の編目の一部を重ね合わせ、重ね合わされた編目を伏せ目処理し、五本胴を編成するようにしていることを特徴とする手袋の編成方法。

4. 削除

5. (補正後) 左右方向に延び、かつ、前後方向に互いに対向する少なくとも前後一对の針床を有し、前後の針床の少なくとも一方が左右にラッキング可能で、前後の針床間で編目の目移しが可能な横編機を用いる手袋の編成方法であって、小指、薬指、中指、人差指が挿入される四本胴と親指の指袋の編成を行い、四本胴と親指の指袋の接合を行った後、五本胴を編成する時に手の甲側の編目対

して、掌側の編目が少なくなるように編目を減らして五本胴が形成されることにより、掌側の編地部分に親指の指袋が突き出された状態で、掌側の編地部に對して親指の指袋の向きが回転した状態に形成されている五本胴を編成することを特徴とする手袋の編成方法。

6. 五本胴における四本胴の編目とウェール方向に連続する編目を、掌側の親指側端部から、五本胴における親指の指袋を形成する編目とウェール方向に連続する編目に、所定コース毎に重ね合わせながら五本胴を編成していることを特徴とする請求の範囲5に記載の手袋の編成方法。

7. (補正後) 四本胴と親指の指袋を接合する前に、四本胴の親指側において編目を増やすことにより編幅を増やす編成を行うようにしていることを特徴とする請求の範囲1、請求の範囲3、請求の範囲5、請求の範囲6の何れかに記載の手袋の編成方法。

8. 四本胴と親指の指袋が接合された後に、五本胴の編幅を減らす編成を行うようにしていることを特徴とする請求の範囲7に記載の手袋の編成方法。

9. 五本胴における親指の指袋を形成する編目とウェール方向に連続する編目と、五本胴における四本胴の編目とウェール方向に連続する編目とを所定コース毎に重ね合わせながら五本胴を編成していることを特徴とする請求の範囲8に記載の手袋の編成方法。

10. (補正後) 左右方向に延び、かつ、前後方向に互いに対向する少なくとも前後一対の針床を有し、前後の針床の少なくとも一方が左右にラッキング可能で、前後の針床間で編目の目移しが可能な横編機を用いて編成された手袋であって、

小指、薬指、中指、人差指が挿入される四本胴と親指の指袋を備え、四本胴における親指の指袋が接合される位置が、四本胴の掌側で人差指側端部から掌中心の間に位置するとともに、親指の指袋が、その1/4周以下の範囲内で回された状態で四本胴と親指の指袋との接合が行なわれて編成されていることを特徴とする手袋。

11. (補正後) 左右方向に延び、かつ、前後方向に互いに対向する少なくとも前後一対の針床を有し、前後の針床の少なくとも一方が左右にラッキング可

能で、前後の針床間で編目の目移しが可能な横編機を用いて編成された手袋であって、

小指、薬指、中指、人差指が挿入される四本胴と親指の指袋とを備え、四本胴における掌側で人差指側端部から所定の目数の複数の編目に親指の指袋が、当該指袋の1/4周以下の範囲内で回された状態で編目の一部が重ね合わされて伏せ目処理がなされていることを特徴とする手袋。

12. (補正後) 左右方向に延び、かつ、前後方向に互いに対向する少なくとも前後一对の針床を有し、前後の針床の少なくとも一方が左右にラッキング可能で、前後の針床間で編目の目移しが可能な横編機を用いて編成された手袋であって、

小指、薬指、中指、人差指が挿入される四本胴と親指の指袋を備え、四本胴と親指の指袋とが接合された後に、五本胴を編成する時に手の甲側の編目対して、掌側の編目が少なくなるように編目を減らして五本胴が形成されることにより、掌側の編地部分に親指の指袋が突き出された状態で、掌側の編地部に対して親指の指袋の向きが回転した状態に形成されていることを特徴とする手袋。

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.